



【教育目標】心豊かに 学び合う

みどりの丘

新潟市立西内野小学校
学校だより No.4
令和4年7月22日
新潟市西区内野上新町 308-1
TEL 025(261)0480
FAX 025(261)0780
<http://www.nishiuchino-e.city-niigata.ed.jp/>
E-mail e713nishikko@city-niigata.ed.jp



〈学校 HP〉

令和4年度1学期前半終了

校長 小柳 裕司

静まりかけた新型コロナウイルス感染症が、今また猛威を振るい、過去を上回る拡大状況となっています。当校も例外ではなく、感染または濃厚接触者として療養・自宅待機を余儀なくされている児童やご家庭があります。早く回復され、通常の生活に戻られますことを心より願っております。



さて、令和4年度の1学期前半が、本日で終了となります。本年度も、感染防止策をとりながら様々な取組を進めてきました。7月に入るころまではやや落ち着いていた感じもあり、学習や行事などに課せられていた制限も多少緩和されていきました。水泳の学習もその一つで、どの学年も昨年度より若干多い時数の水泳学習ができました。また、2年生と4年生は、着衣水泳の学習にダッシュスイミングスクールのコーチにおいでいただき、専門的な指導を受けることができました。

本物に触れたり体験したりすることにより、学習効果が何倍にもなります。5年生社会科で稲作について学習します。5月の初めに田植え体験をすることができました。新潟は日本一の米どころですので、たとえ子どもでも米づくりの大体の方法や田植えから稲刈りまでの風景は認識していることと思います。しかし、普段見慣れているはずの田んぼに初めて素足で入った時は、想像以上のヌルっとした感触があり誰も忘れることのできない経験になります。

貴重な体験や思いをもとに、自らの興味・関心によってさらに学習が広がっていくことが理想です。しかし、残念ですがこれらの体験も、どちらかといえば「やらされている…」「〇〇しなさい！」と強制されていることが多いのが現実です。

学校は、学習指導要領に定められた学習内容を学ばせるところです。決して、子どもたちが好きなように学習内容を決めているわけではありません。そして、教員の指示のほとんどが「〇〇しなさい！」かもしれません。「教室に入りなさい」「席に着きなさい」「教科書・ノートを出しなさい」「3回ずつ練習しなさい」・・・もしかすると、学校は子どもたちの素朴な感覚、自由な発想や表現、自分らしく成長しようとする自立の芽を摘んでいたかもしれません。

私たち大人は、子どもたちに対してせっかちになりがちです。失敗はかわいそうだから、うまくいく方法を「〇〇しなさい」と与えてしまうのです。「〇〇しなさい！」と言われ続けていると、いつの間にか指示待ちっ子になり、自分から進んで行動できにくい子になってしまいます。ご家庭では、どのように子どもたちに接していますか？

夏休みを目前にして、子どもたちには、「『さい』が多い夏休みより、『ぞう』が多い夏休みの方が素敵になるはずです。」と話しました。「早く起きるぞう！」「勉強するぞう！」「お手伝いするぞう！」「友だちと仲良くするぞう！」・・・自分で判断して行動しなければならないことが多い夏休みですから、これをよい機会ととらえ、子どもの自立心が育ってくれるといいなと思います。ご家庭でも、子どもへの投げかけの言葉を振り返り、必要に応じて少し工夫をしてみてくださいはいかがでしょうか。子どもが自立しようとしているとき、大いに認め伸ばしてあげていただけたらと思います。

1学期前半、ご家庭や地域の皆様には学校の方針や活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございました。夏休み後もよろしくお願いいたします。



職員の異動のお知らせ

本年度4月より、しおかぜ3組の担任として勤務していた小竹美良乃先生が、7月末をもって任期満了に伴う異動となります。大変お世話になりました。

なお、育児休業を取得していた角田友香里先生が8月より復帰し、しおかぜ3組の担任となります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

しおかぜ3組 小竹 美良乃 先生 8月より坂井輪小学校へ
素敵な西っ子の皆さんは、毎日、私に明るい挨拶をしてくれたり、「しおかぜの先生だ!」と声をかけてくれたりしました。そんな皆さんの笑顔を見るたびに元気をもらっていました。4か月という短い間でしたが、皆さんと過ごした西内野での思い出は最高の宝物です。少し早いお別れはさみしいですが、またどこかで成長した皆さんとお会いできることを楽しみにしています。今までありがとうございます。



西内野小学校区 交通安全推進協議会 総会開催



7月14日(木)に、「西内野小学校区交通安全推進協議会」の総会が開催されました。内野平和台自治会長の江口実様を会長に、各自治会長、民生委員・児童委員、スクールガードリーダー、セーフティスタッフなど、30名を超える役員の方々からなる協議会です。

本年度の事業計画を確認したほか、理事の方々には通学路での子どもたちの登下校などの様子をうかがいました。特に下校時には学校が終わった開放感からか道路いっぱい広がって歩いていて、自動車に接触しそうなことがあることや自転車でスピードを出しすぎていた

り横に並んで走行したりしているなど、狭い道路で危険な乗り方をしている場面を見かけることがあるとの情報も寄せられました。また、この後夏休みを迎えることから、スケートボードやキックボードなどでの道路・歩道の走行の仕方について、特に注意してほしいとの指摘もありました。

数年前に、交通事故でかけがえのない命を落とす事故があったことから、7月8日を「西小交通安全の日」と定め、歩行中・自転車走行中に絶対に飛び出しをしないこと、危険な自転車乗りをしないことなどを全校放送で確認し、指導しています。夏休み中、痛ましい交通事故がないよう、ご家庭でもくれぐれも交通ルールの順守と安全な道路歩行・通行のマナーについてご確認とお声掛けをお願いします。

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

教育目標・学校教育ビジョンの具現化を目指して、日々、学校教職員一体となってよりよい教育活動を進めてきたところです。中間の達成状況を把握・確認するために、子どもたちや保護者の皆様から当校の教育についてのアンケートを実施しています。この度、大勢の保護者の皆様からGoogleフォームを活用して多くのご意見をいただくことができました。

記述のご意見で、最も多かった(28件/92)のが、青空班遠足についてでした。前週雨天による延期の後、一転して猛暑の中実施したわけですが、皆様のご指摘の通り普段以上の熱中症への警戒をすべきだったと反省しています。活動の目的、時期、内容、体制等、今後十分に検討を重ね、次年度の計画立案につなげてまいります。

この行事に関して、延期したにもかかわらず、多くの見守りボランティアの方々には、子どもたちの安全な活動を支援いただきました。心より感謝しております。ありがとうございました。

